

目指す姿

妊産婦、子育て世帯、子どもが誰一人取り残されることなく、相談を受け適切な支援につながる相談支援体制が整っている（児童虐待の発生予防、早期発見、発生時の迅速な対応ができています）



KPI	基準値	目標値(R9)
【第2階層】重大な児童虐待事案発生「ゼロ」の継続	0件	0件
【第1階層】こども家庭センターの設置	—	全市町村
【第1階層】統括支援員の役割を担う職員等の配置	6町村	全市町村
【第1階層】サポートプランの策定率	—	100%

現状と課題

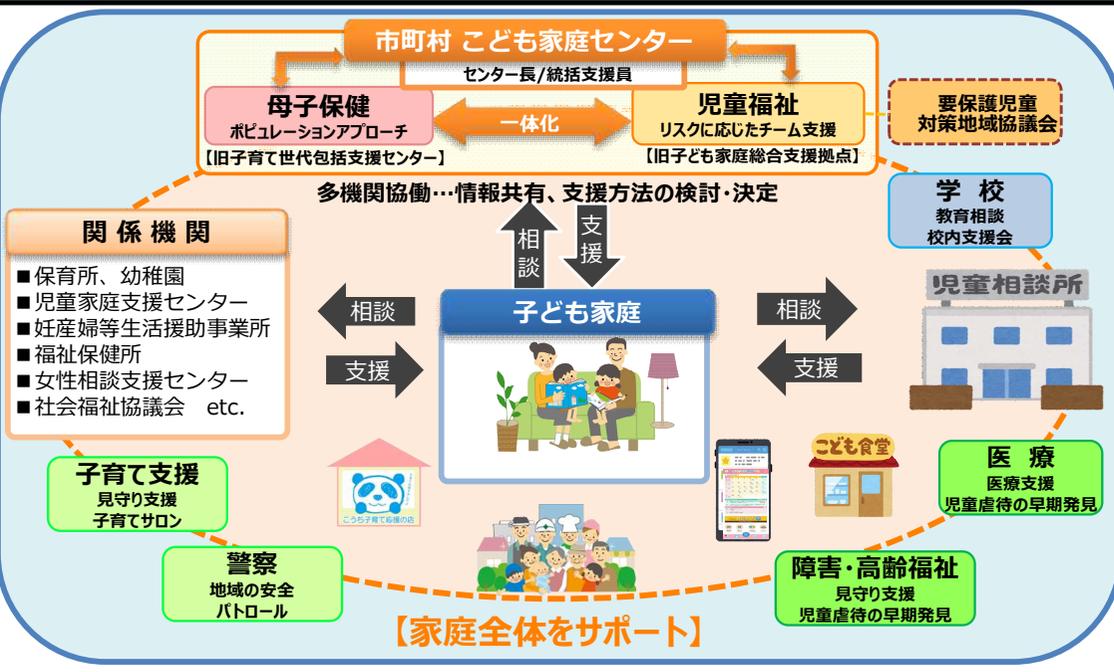
現状

- ・子育て世代包括支援センターが全市町村に設置されるとともに子ども家庭総合支援拠点の設置数が拡大し(R1:2市町→R5.5:22市町村)、妊娠前から子育て期まで切れ目のない相談支援体制が構築されつつある。
- ・児童虐待の相談対応件数の増加など、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化している。

課題

- ・市町村におけるこども家庭センターの設置促進による母子保健と児童福祉の一体的な相談支援体制の強化、統括支援員の配置や職員の専門性の向上
- ・児童相談所職員の相談支援体制の強化に向けたさらなる専門性の向上

包括的な相談支援体制のイメージ



令和6年度の取り組み

- （1）こども家庭センターの円滑な設置促進**
 - 新** ・ こども家庭センターの設置運営に係る経費への補助
 - ・ 研修会の開催等を通じた先行事例の紹介やアドバイザーによる助言、家庭支援事業実施の働きかけ
 - 新** ・ 統括支援員の資質向上のための実務研修の実施
 - ・ 市町村職員のアセスメント等の相談対応力の向上やスクールソーシャルワーカー等との連携強化に向けた多職種連携研修等の実施
- （2）児童相談所の相談支援体制の強化**
 - 新** ・ 相談支援にかかる「こども家庭ソーシャルワーカー」の資格取得促進
 - 拡** ・ 親子関係の再構築に向けた支援の充実
- （3）児童虐待の発生予防・早期発見**
 - ・ 虐待対応ダイヤル「189」やSNS相談窓口等の周知啓発
 - ・ オレンジリボンキャンペーンを活用した官民協働の啓発活動の展開
 - 拡** ・ 予期せぬ妊娠等の相談窓口の周知及び相談体制の強化